

**畜産農家の生産コスト削減に向けて！
子実用トウモロコシの加工・利用実演会を開催します。**



自給飼料の利用拡大による生産コスト削減に向けて、置賜産の子実用トウモロコシ（※）を置賜地域内の施設・設備で加工し、肉用肥育牛に給与する実演・研修会を開催しますので、当日の様子を取材くださいますようお願いいたします。

1 目的

置賜産の子実用トウモロコシを畜産農家が自給飼料として利用する際に、ネックとなっている「地域外での破砕加工」に要するコスト（輸送費・機械利用料）について、市販の穀物破砕機（地域内設置）を使用することで削減が可能であると実演会形式で生産者・関係者に示すもの。

もって、置賜産の子実用トウモロコシについて、畜産農家の自給飼料としての利用拡大と耕種農家の転作作物としての生産拡大を目指すもの。

2 日時

令和6年11月26日（火）13:30～15:00

3 場所

山形おきたま農協小国資材センター（西置賜郡小国町針生 245-3）

4 参集者

置賜管内農家、市町、農協、県関係者

5 内容

(1) 破砕加工

子実用トウモロコシ（令和6年産）を市販の穀物破砕機を使用して破砕加工する様子を実演

(2) 給与実証

破砕処理した子実用トウモロコシを肉用肥育牛に給与し、嗜好性を確認

※「子実用トウモロコシ」とは、飼料として利用するトウモロコシのうち、子実の部分のみを収穫、利用する場合を指す。一方、茎葉全体を収穫し粗飼料として利用する場合は「青刈トウモロコシ」と呼ぶ。

【問合せ先】

担当 産業経済部農業振興課
課長補佐 佐藤 文博

電話：0238-26-6053

報道監 総務企画部長 佐々木 秀徳